

第44回安佐北区民スポーツ大会

【競技要領】

ソフトボール
バレーボール
卓 球
ソフトテニス
バドミントン
ゲートボール
グラウンド・ゴルフ
ソフトバレーボール
剣 道
ペタンク

令和5年5月21日(日)

順延の場合雨天台：5月28日(日)

【ソフトボール競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）
【雨天の場合：5月28日（日）】

開 始 式：午前8時00分
競技開始：午前8時30分

2 会 場

中国電力南原研修センター
・ソフトボール場
・軟式野球場
・多目的グラウンド

3 チーム編成

- (1) 監督1名、選手18名以内の男子で編成してください。ただし、学生・生徒・児童は除きます。
- (2) 監督は選手を兼ねることができます。この場合、監督は選手の人数に含まれます。
- (3) 必要に応じて、コーチ・マネージャーを登録することができます。（同一学区の方に限ります）

4 年齢制限

出場選手の合計年齢は、出場時、常に301歳以上とします。ただしDP制を採用する場合、10人の選手で行う場合は常に335歳以上、9人の選手で行う場合は常に301歳以上とします。

5 参加チーム数

各学区1チームとします。

6 参加資格

令和2年度以降の次の全国大会に出場した方は、選手として参加できません。

ただし、選手を兼ねない監督は除きます。また、40歳以上の選手は参加できます。

- ア. 全日本実業団ソフトボール選手権大会
- イ. 全日本クラブソフトボール選手権大会
- ウ. 全日本教員ソフトボール選手権大会
- エ. 全日本大学ソフトボール選手権大会
- オ. 全日本総合ソフトボール選手権大会
- カ. 国民体育大会ソフトボール競技

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は3名以内とし、当日7時30分から8時までの間、各会場の運営本部で受付けます。

8 競技規則

現行のオフィシャル・ソフトボール・ルールに準じて行います。

9 使 用 球

公益財団法人日本ソフトボール協会検定3号ボール（ゴム製コルク芯）

10 競技方法

- (1) トーナメント方式とします。
- (2) 試合は5回戦とします。なお、60分を越えて新しいイニングには入りません。
- (3) 同点の場合は、抽選で決定します。

11 競技上の注意

- (1) 試合球以外の用具は、参加チームで準備してください。
- (2) 打者及び走者は、必ずヘルメット（両耳ガード付き）を着用してください。

- (3) 捕手はストローガード付マスク、捕手用ヘルメット及びレガースを着用してください。また、プロテクターは着用する。
- (4) 捕手はブルペンでの投球練習でもストローガード付マスク、捕手用ヘルメットを着用してください。
- (5) 1 塁及び3 塁コーチは、ヘルメットを着用してください。
- (6) スパイクの使用は禁止します。ただし、底部がゴム製及びプラスチック製のものは除きます。
- (7) 胸部に団体名を明記した統一ユニフォームを着用してください。また、スパイクはチームで同色が望ましい。
- (8) 監督及び選手は、必ず背番号及び胸番号を付けてください。この場合、監督は3 0 番、主将は1 0 番とし、他の選手は1 番から9 9 番の番号を使用してください。
- (9) 監督及び選手は、競技の進行上競技開始3 0 分前までに、所定の場所に集合し、役員の指示により待機してください。
- (10) 各選手の年齢は、試合開始前に交換するオーダー表により、監督相互で確認してください。
- (11) 競技中の選手交代については、球審が年齢を確認した後、認めます。
- (12) 第1 試合は、各競技部員によりゲームの補助をしてください。また、第2 試合より敗者チームが、グラウンド整備及び、次の試合の補助をしてください。
- (13) 前年度の優勝及び準優勝チームはシードとします。
- (14) 決勝戦で優勝チームを決定します。

【バレーボール競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

競技開始：午前9時35分（男子の部）
午前9時35分（女子の部）

2 会 場

【男子の部】 安佐北区スポーツセンター小体育室
【女子の部】 安佐北区スポーツセンター大体育室、高陽体育館

3 チーム編成

- (1) 男子の部・女子の部とも監督1名、コーチ1名、マネージャー1名（男女を問わず）、選手15名以内で編成してください。
- (2) 監督は選手を兼ねることができます。この場合、監督は選手の人数に含まれます。

4 年齢制限

【男子の部】 高校生の出場は3名以内とします。なお、中学生以下は出場できません。
【女子の部】 20歳未満の選手の出場は、2名以内とします。ただし、その場合、同数の40歳以上の選手が出場しなければいけません。
なお、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区から、男子の部・女子の部各1チームとします。

6 参加資格

令和2年度以降の次の全国大会に出場した方は、選手として参加できません。

- ア. 日本バレーボールリーグ
- イ. 全国実業団バレーボールリーグ
- ウ. 地域バレーボールリーグ
- エ. 全日本実業団バレーボール選手権
- オ. 黒鷲旗全日本バレーボール選手権
- カ. 全日本9人制バレーボール総合選手権

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は3名以内とし、当日競技開始までに運営本部で受付けます。

8 競技規則

現行の公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則に準じて行います。

9 使用球及びネットの高さ

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会公認5号球を使用します。
- (2) ネットの高さは、男子2m38cm、女子2m15cmとします。

10 競技方法

- (1) トーナメント方式とします。
- (2) 女子の部は、2ゾーンに分け各ゾーン決勝までとします。なお、順位及び広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの出場は、次のとおり決定します。
 - ア. 各ゾーンの勝者が、広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルに出場します。
 - イ. 順位は、セット率及び得点率により決定します。
 - ウ. 順位の対象となる試合は、当該チームが行った最終試合とします。ただし、同率の場合は、前の試合とします。

エ. 各ゾーンの2位チームを3位とします。

(3) 1試合3セットマッチとします。

11 競技上の注意

- (1) 競技受付は、開始式までに各会場の運営本部で行います。
- (2) 女子に関しては、受付後、会場責任者にて各チームの年齢確認を行い、20歳未満の選手の登録があるチームを確認し、そのチームにはゲーム出場時の選手構成の確認をして下さい。
- (3) 会場責任者は、上述チーム試合時に審判を受け持つチームの主審に要チェック指示を行って下さい。
- (4) 選手は、チームで統一されたユニフォームを着用してください。
- (5) 監督、コーチ及びマネージャーは規定のマークを左胸に、キャプテンは規定のマークを付けてください。
- (6) 審判は、相互審判で行います。敗者チームは、次の試合の主審、副審、線審（4名）、点示（2名）の合計8名で審判を行ってください。ただし、第1試合については、第3試合のチームが行ってください。

12 その他

- (1) 各会場別に駐車券を配付します。
- (2) 各チームの代表者は各会場に8時に集合し、会場作りをお願いします。

13 オープン参加

- (1) 選手は安佐北区在住とします。
- (2) 他学区から追加する選手は各チーム2～3名までとします(要相談)
- (3) 普段から一緒に練習していることを条件とします。
- (4) 組合せは広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに出場できるゾーンと別となり、広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに出場できません。
- (5) 競技内容は参加チーム数により考慮します。
- (6) 大会申込書にオープン参加の場合はオープン参加区分にチェックを入れ、選手登録名簿の該当する参加区分に丸印をしてください。

【卓球競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

開 始 式：午前8時35分

競技開始：午前9時00分

2 会 場

安佐北区スポーツセンター大体育室 南側半面（16台）

3 チーム編成

- (1) 監督1人（男女を問わず）、混合ダブルス5組（男子5人、女子5人）、補員男女各2人以内の合計15人以内で編成します。ただし、学生・生徒・児童を除きます。
- (2) 監督は選手を兼ねることができます。この場合、監督は選手の人数に含まれます。

4 年齢制限

混合ダブルス各組の合計年齢は、110歳以上、100歳以上、90歳以上、80歳以上、及びフリーとします。

5 参加チーム数

各学区から、1チームとします。

6 参加資格

令和2年度以降の次の全国大会に出場した方は、選手として参加できません。

ア. 全日本卓球選手権大会（マスターの部を除く）

イ. 全日本社会人卓球選手権大会

ウ. 国民体育大会卓球競技

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は男女とも2名以内とし、競技開始までに運営本部で受付けます。
- (3) 安佐北区内で合同チームを編成し出場することができます。
また、単一学区のオープン参加を認めます。
但し、広島市スポーツレクリエーションフェスティバルへ出場することはできません。
※ 単一学区のオープン参加については、参加申込時・選手名簿提出時にその旨を記載してください。

8 競技規則

現行の公益財団法人日本卓球協会日本卓球ルール及び同細則に準じて行います。

ただし、タイムアウト制は適用しません。

9 使 用 球

公益財団法人日本卓球協会使用指定球（ホワイトボール）

10 競技方法

- (1) 予選はブロックに分けてリーグ戦を行い、上位2チームで決勝トーナメントを行う。
- (2) 試合は、混合ダブルス（年齢別）とし、それぞれを兼ねて出場できません。
- (3) 試合の順序は、次のとおりとします。
①合計年齢110歳以上→②合計年齢90歳以上→③合計年齢不問→④合計年齢100歳以上→
⑤合計年齢80歳以上
- (4) 3試合先取法とします。ただし、リーグ戦のみ全試合を行います。
- (5) 決勝トーナメントに進めなかったチームは、Bゾーントーナメントに進みます。

- (6) オーダー上の棄権は、オーダー用紙提出前に本部と対戦チームに通告します。
- ※ 最低6人（混合ダブルス3組）での参加が可能ですが、1組棄権の場合は、①合計年齢110歳以上を、2組棄権の場合は、①合計年齢110歳以上と②合計年齢90歳以上を棄権とします。
- 必須の混合ダブルスが組めない場合はオープン参加となります。
- (7) オープン参加（合同又は単一学区）チームが、予選リーグにて2位以上の場合でもリーグの最下位とし、Bゾーントーナメントに進みます。

11 競技上の注意

- (1) 競技受付は、開始式まで会場の運営本部において行います。
- (2) 選手は、背部に名前、団体名を明記したゼッケン（25cm×18cm）を必ず付けてください。

名 前	12cm
団 体 名	6cm
25cm	

【ソフトテニス競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

【雨天の場合：5月28日（日）】

開 始 式：午前9時00分

役員集合：午前8時00分

雨の決定：午前6時30分

2 会 場

中国電力南原研修センターテニスコート（8面）

3 チーム編成

- (1) 監督1名、男子8名、女子8名、計17名以内でチームを編成してください。
- (2) 監督は選手を兼ねることができます。この場合、監督は選手の人数に含まれます。

4 年齢制限

特に年齢制限は設けません。ただし、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区1チームとします。

6 参加資格

令和2年度以降の次の全国大会に出場した方は、選手として参加できません。

ただし、60歳以上の男女各1名及び選手を兼ねない監督は除きます。

ア. 全日本総合ソフトテニス選手権大会（天皇杯・皇后杯）

イ. 全日本社会人ソフトテニス選手権大会（一般男・女）

ウ. 全日本実業団ソフトテニス選手権大会

エ. 国民体育大会ソフトテニス競技

オ. 全国インドアソフトテニス選手権大会

カ. 全日本シングルスソフトテニス選手権大会

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は、当日開始式までに運営本部で受付けます。
- (3) 安佐北区内で合同チームを編成し出場することができます。
但し、予選リーグのみの出場とし、決勝トーナメントへ進むことはできません。

8 競技規則

現行の公益財団法人日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによります。

9 使 用 球

公益財団法人日本ソフトテニス連盟公認球

10 競技方法

- (1) トーナメント方式または、リーグ戦とします。
- (2) 7セットマッチとします。
- (3) 試合順序は、男子→女子→混合→女子→男子とします。なお、混合の前衛・後衛は、男子・女子を限定しません。
- (4) 3組又は4組での出場を認めます。ただし、決勝トーナメントへの進出チームは、男子・女子・混合が最低1組ずつ揃っているチームの中から決定します。5組揃っていない場合は、前から順に試合を行

います。

最低3組で出場できるが、男子・女子・混合が揃っていないと決勝に上がれない。
決勝に上がれないチームの成績は勝っても負けても全て0点とします。

- (5) 合同チームは決勝トーナメントに上がれないため、チーム成績は勝っても負けても0点とします。

11 競技上の注意

- (1) 競技受付は、開始式まで会場の運営本部で行います。
- (2) 選手は、胸部に学区名を明記したゼッケン（白布12cm×18cm）を必ず付けてください。
- (3) 出場選手の服装は、テニスにふさわしい服装とし、コートに入る際はテニスシューズを着用してください。

【バドミントン競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

開 始 式：午前9時00分

競技開始：午前9時10分

2 会 場

白木中学校体育館

3 チーム編成

- (1) 監督1名、男子2組、女子2組、混合1組、補員男女各3名以内の計17名以内で、編成してください。

ただし、試合当日、男子4名でしか編成できない場合は、女子1名を男子で登録することができます。

- (2) 監督は選手を兼ねることができます。この場合、監督は選手の人数に含まれます。

4 年齢制限

特に年齢制限は設けません。ただし、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区1チームとします。

6 参加資格

令和2年以降の次の大会に出場した方は、選手として参加できません。

ただし、36歳以上の方及び選手を兼ねない監督は除きます。

ア. 全日本総合バドミントン選手権大会

イ. 全日本社会人バドミントン選手権大会（ただし、広島大会は除きます）

ウ. 全日本実業団バドミントン選手権大会

エ. 全日本教職員バドミントン選手権大会（ただし、広島大会は除きます）

オ. 全日本学生バドミントン選手権大会

カ. 国民体育大会バドミントン競技及び同ブロック大会（ただし、少年の部を除きます）

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。

- (2) 選手登録名簿の変更は追加を含め4名以内とし、大会当日の監督会議まで受け付けます。

- (3) 安佐北区内で合同チームを編成し出場することができます。

また、バドミントン競技においては、1学区で男子4名、女子4名での出場（単一学区のオープン参加）を認めます。

但し、予選リンクのみの出場とし、決勝トーナメントへ進むことはできません。

※ 単一学区のオープン参加については、参加申込時・選手名簿提出時にその旨を記載してください。

8 競技規則

現行の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規定に準じて行います。

9 使 用 球

公益財団法人日本バドミントン協会検定合格球

10 競技方法

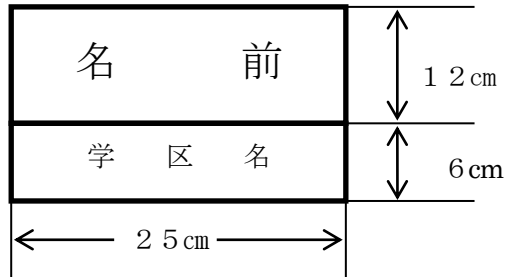
- (1) 予選はリンク方式とし、決勝はトーナメント方式とします。

- (2) 試合は、すべてダブルスとします。

- (3) 試合順序は、男子→女子→混合→女子→男子とします。
- (4) 1ゲーム21点ラリーポイント制とし、3試合先取法とします。ただし、予選は全試合行います。

11 競技上の注意

- (1) 試合前のコールで5分を経過してもコートに入らないチームは棄権とします。
- (2) 選手の服装は、バドミントンウェアを着用します。
- (3) 監督及び選手は、背部に名前、団体名を明記したゼッケン（25cm×18cm）を必ず付けてください。



【ゲートボール競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

【雨天の場合：5月28日（日）】

開 始 式：午前8時50分

競技開始：午前9時00分

2 会 場

可部南小学校グラウンド

3 チーム編成

- (1) 監督1名、選手5名以上8名以内、計9名以内（男女を問わず）で編成してください。
- (2) 監督は専任とし、選手を兼ねることはできません。ただし、監督を置かないこともできます。
- (3) 選手のうち1名を主将とします。

4 年齢制限

特に年齢制限は設けません。ただし、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区原則1チームとします。但し、参加チームの状況により1学区から2チームの出場を認めます。

6 参加資格

大会開催要項の「4 参加資格」に準ずる。

7 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は、当日競技開始（各コートの第1試合）までに受付けます。

8 競技規則

現行の公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則に準じて行います。

9 試 合 球

主催者が準備するボールとします。

10 競技方法

リーグ戦（ブロックごとの総当たり戦）とし、成績において総合順位を決定します。

参加チームの状況により競技方法を変更する場合があります。

11 競技上の注意

- (1) 監督及び主将は、監督章・主将章を着けてください。
- (2) 選手は、ゼッケン及びスティックを各自持参してください。
- (3) 監督及び選手は、競技の進行上、試合開始5分前までに所定の場所に集合し、役員の指示を受けて待機してください。

【グラウンド・ゴルフ・プレー要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

【雨天の場合：5月28日（日）】

（雨天中止決定：午前6時30分）

役員集合：午前8時00分

受付：午前8時30分

開始式：午前9時00分

プレー開始：午前9時15分

終了予定：午後2時頃

2 会 場

可部運動公園多目的広場

3 チーム編成

選手は、チーム代表者を含む10名以内（男女を問わず）で編成してください。

4 年齢制限

特に年齢制限は設けません。ただし、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区1チームとします。

6 選手登録

(1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。

(2) 選手登録名簿の受付と変更は、当日午前9時までに運営本部で行います。

7 プレー規則

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会のルールを適用します。

8 使用用具

クラブ、ボール及びマーカーは、各チームで準備してください。

ただし、ホールポスト及びスタートマットは、主催者で準備します。

9 プレー方法

(1) プレーは団体戦とします。

(2) プレーは、1チーム6人とし、3人ずつ2つのパーティーに分かれます。

(3) Aコース、Bコース、Cコースを設置し、各コースを1ラウンド、計3ラウンドで行います。

(4) 選手の交代は、各ラウンド終了後に限り認めます。ただし、選手にやむを得ない事故があった時は、ラウンド途中での交代を認めます。なお、選手交代はチーム代表者が運営本部に申し出てください。

(5) 記録（スコア）は、同パーティーのプレーヤーの中で行ってください。

10 順位の決定

順位は、公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会「公式大会 第三章」により決定します。第三章で決定できない場合は1ホールのニアピンで決定します。また、スコアカードの記入間違いは多い打数を採用します。

11 その他

(1) ゲーム中の喫煙、大会中の飲酒は禁止

(2) ゴミの始末は各自でお願いします。

【ソフトバレーボール競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

受 付：午前8時00分

開 始 式：午前8時30分

試合開始：午前8時50分

2 会 場

広島市立清和中学校体育館

3 競技種目

混合の部・女子の部

4 チーム構成

- (1) チームは、監督1人（男女問わず）、キャプテンを含む競技者4人と、4人以内の交代競技者で構成します。交代競技者は競技者の規定に準じた構成人数以内とします。
- (2) 監督は競技者を兼ねることができますが、その結果、競技者及び交代競技者の規定人数を超える事はできません。
- (3) 交代競技者や審判割当を考慮して、5人以上の登録を厳守とします。

5 年齢制限

混合の部 男性満40歳以上 女性満30歳以上の男女各2人で競技します。

女子の部 満30歳以上の女性4人で競技します。

令和5年4月2日現在の満年齢とする。

6 参加チーム数

各学区とも、混合の部・女子の部、各1チームとします。

7 参加資格

令和2年度以降に公益財団法人日本バレーボール協会主催の6人制または9人制の全国大会に出場した人は参加できません。ただし、選手を兼ねない監督及び50歳以上の選手は除きます。

8 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は、当日競技開始までに運営本部で受け付けます。

9 競技規則

- (1) 現行の公益財団法人日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール競技規則に準じます。
- (2) ネットの高さは、2mとします。

10 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール公認球を使用します。(今大会は、モルテン球を使用します。)

11 競技方法

(1) 予選はチーム数により、リンクもしくはリーグ方式とし、決勝は別途トーナメント方式で順位を決定します。

(2) 順位は、勝ち点、セット率、得点率で決定します。

※ なお、予選の方式は、参加チーム数によって変更することがあります。

12 競技上の注意

(1) 競技受付は、開始式までに各会場の運営本部で行います。

(2) 選手は、胸部と背部に番号を明記してください。

(混合の部) 男性1～4番 女性5～8番

(女子の部) 1～8番

なお、ユニフォーム(ビブス)においては、学区名が入ったものを着用ください。

(3) 競技の進行上、前の試合の第1セット終了後には、次の試合コートに待機してください。

(4) 審判は相互審判で行います。審判を担当するチームは、主審、副審、線審(2人)、点示員(2～1人)の5人以上で行ってください。

ただし、主審・副審は、(原則として)認定ソフトバレーボールリーダー資格取得者、または審判講習会修了者としてします。不在の場合は本部に申告してください。

(5) 各学区名プレートを各チームで準備してください。試合当日得点板に掲示します。

【 剣 道 競 技 要 領 】

1 日 時

令和5年5月21日（日）

開 始 式：午前9時30分

競技開始：午前9時45分

2 会 場

落合中学校体育館及び武道場

3 競技内容

- (1) 団体戦
- (2) 個人戦：小学校男子低学年の部、小学校男子高学年の部、小学校女子低学年の部、
小学校女子高学年の部、中学生男子の部、中学生女子の部、青年の部

4 チーム編成

団体戦は、1チーム監督1名、選手3名で編成してください。

但し、1学区のみでチーム編成が出来ない学区に限り、他学区との混成チームを認める。この場合いずれか代表の学区で出場のこと。

5 年齢制限

団体戦・個人戦とも、次に掲げる各区分の学年及び年齢の範囲内とします。

- (1) 団体戦
 - ア. 先鋒 小学校低学年（1～4年生）
 - イ. 中堅 小学校高学年（5・6年生）
 - ウ. 大将 中学生（1～3年生）
- (2) 個人戦
 - ア. 小学校男子低学年の部及び小学校女子低学年の部（1～4年生）
 - イ. 小学校男子高学年の部及び小学校女子高学年の部（5・6年生）
 - ウ. 中学生男子の部（1～3年生）
 - エ. 中学生女子の部（1～3年生）
 - オ. 青年の部（中学校卒業後19歳までの者。ただし、大学生を除く）

6 参 加 数

- (1) 団体戦は、各学区から2チーム以内とします。
- (2) 個人戦は、各学区から各々の部2名とします。
- (3) 団体戦に出場した選手の個人戦出場（重複参加）を認めます。

7 参加資格

- (1) 出場者の段位は、3段までとします。
- (2) 平成30年度以降に、次に掲げる全国大会に出場した方は選手として参加できません。
 - ア. 全国中学校選手権大会
 - イ. 全国高等学校剣道大会
 - ウ. 国民体育大会剣道競技

8 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は認めません。

9 競技規則

全日本剣道連盟試合規則及び審判規則同細則を適用します。なお、審判員は全日本剣道連盟の服装とし公認審判員章を着用してください。

10 競技方法

- (1) 個人戦は、トーナメント方式または、リーグ戦とします。
- (2) 団体戦の予選はリーグ戦とし、決勝はトーナメント方式とします。
- (3) 団体戦は、先鋒より学年の低い順に行い、年齢の繰下げは認めません。
- (4) 代表者戦は、中学生で行います。
- (5) 今回は、団体戦を先に行い、入替制で個人戦を行います。

11 競技上の注意

- (1) 競技受付は、開始式まで会場の受付で行います。
- (2) 参加選手は、剣道具の「たれ」の前面に学区名・氏名のゼッケンを必ず着けてください。
- (3) 団体戦のオーダー変更は、病気や事故等やむを得ない理由がある場合、選手登録名簿に記載された補員に限り認めます。
- (4) 団体戦は各チーム監督1名、個人戦は各学区監督2名（低学年1名、高学年1名）とします。
- (5) 監督は、「監督腕章」を必ずつけてください。なお、腕章は各チームで準備してください。

12 その他

できるだけ多くの選手に出場機会を与えてあげるようご配慮ください。

13 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 当日、受付にて検温を行います。（37.5度以上の参加はお断りいたします。）
- (2) 参加者は、会場内外でのマスク着用及び試合中は、マスク+マウスシールドを着用すること。
- ※(3) 試合会場においては、無観客とします。（保護者は外又は武道場に待機）

【ペタンク競技要領】

1 日 時

令和5年5月21日（日）
【雨天の場合：5月28日（日）】

受 付：午前8時45分
競技開始：午前9時30分

2 会 場

広島市立倉掛小学校グラウンド

3 チーム編成

- (1) チーム代表者1人と選手3～5人（男女問わず）で編成します。ただし、学生・生徒・児童は除きます。
- (2) チーム代表者は選手を兼ねることができます。この場合、チーム代表者は選手の人数に含まれます。

4 年齢制限

特に年齢制限は設けません。ただし、学生・生徒・児童は出場できません。

5 参加チーム数

各学区2チームまで参加することができます。

6 選手登録

- (1) 選手登録名簿は、4月7日（金）までに各学区体育協会会長を通じ所定の様式で提出してください。
- (2) 選手登録名簿の変更は追加を含め2名以内とし、当日の選手受付時まで受け付けます。

7 競技規則

現行の公益社団法人日本ペタンク・ブール連盟競技規則に準じて行いますが、一部本大会細則を設けます。

8 試合球

市販されている公式競技用ボールを使用します。なお、主催者が準備する用具の貸し出しも行います。

9 競技方法

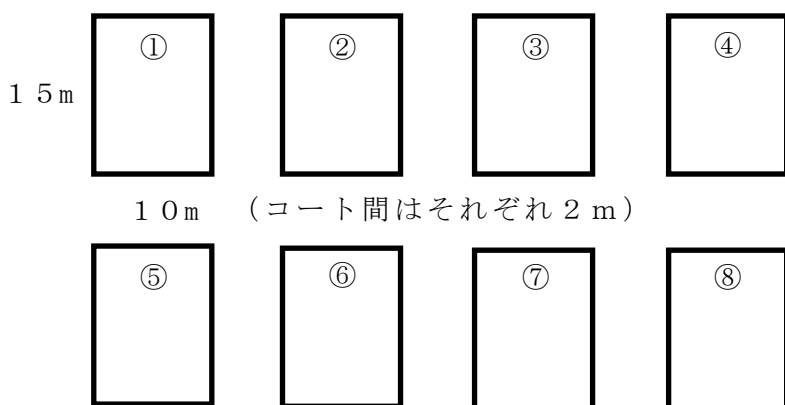
- (1) 予選リーグ（1ブロック4チームを基本）を行い、各ブロック1・2位のチームにより決勝トーナメント（3位決定戦、5～8位決定戦 実施）、各ブロック3・4位のチームによりふれあい交流戦（オープン参加）を行います。
- (2) 試合はトリプルス（3人対3人、1人の持ちボール数2球）で行い、試合途中のメンバー交代は認められません。ただし、選手にやむを得ない事故があった場合は交代を認めます。
- (3) 試合の終了については、いずれかのチームが11点（決勝トーナメントは13点）先取した場合、もしくは試合開始から40分を経過した時点のメーヌ終了をもって試合終了とします。
- (4) 試合終了時点で、得点の多いチームの勝ちとします。
なお、予選リーグにおいて同点の場合は引き分けとします。
- (5) 記録・試合の進行管理については、ペタンク競技部で対応します。（スポーツ推進委員が援助）

10 競技上の注意

- (1) 競技中のチーム以外の方は、他コートของเกมに対して干渉しないでください。
- (2) 選手の投球時には、必ず静止して投球を見守るようにしてください。
- (3) 対戦チーム等への抗議は審判長（本部）を通じて行ってください。
- (4) ビュットやボールの位置、得点などは必ず両チームが確認し合い、試合を進行してください。

ペタンク競技要領 細則

1 コート



※ 1コートで2ゲーム行う。(スポレク形式)

※ 区画ラインはすべて無効ライン(真上から見て少しでもかかっていたら有効)

※ 一度無効ラインを完全に割ったボール・ビュットは戻ってきても無効

2 試合の進行

- (1) 試合コートに集合し、各チームの選手名をスコアカードに記入する。
- (2) 一礼後、先攻・後攻を決め試合開始を待つ。
※ 両チーム貸出ボールを使用する場合、先攻チームからボールを選ぶ。
- (3) 審判長(本部)の合図で一斉に試合を開始する。
- (4) 競技終了後、両チームが結果に異議のないことを確認するサインを行い、互いの善戦・健闘をたたえ握手をもって試合終了とする。(記録員がスコアカードを競技本部へ提出)

3 競技に関すること(競技規則抜粋)

(1) サークルに関すること

① 競技の開始

- ・ 1メーヌの投球順はジャンケンで決定し、先攻チームがサークルを置き、マーキングをしてビュットを投げる。
- ・ 1メーヌの第1投は、ビュットの投球ファールの有無の関わらず、先攻チームが行う。
(ビュットを投げた選手が、必ずしも最初の投球をしなくてもよい)
- ・ 2メーヌ以降、前メーヌで勝ったチームが前メーヌ終了時のビュットを中心としてサークルを置き、ビュット及び第1投を行う。
- ・ サークルはビュットを投げるチームが投げるまで移動してはならない。
- ・ 投球する選手は、サークルを踏んではいけない。踏んだままや、投げたボールが地面に着地する前に足が地面から離れたり、サークルの外に身体の一部がふれた場合は、違反となり罰則(34条)対象となる。
(かかとを浮かせた時、足の一部でもサークル内の地面に触れていれば有効とみなす。)

(2) ビュットに関すること

① 投げる規程距離

- ・ 投げられたビュットが有効であるためには、サークル内側からビュットまでの距離が6 m以上10 m以下、かつ無効ラインから1 m以上離れている必要がある。
なお、先攻チームが1回投げて有効なビュットとならなかった場合、ビュット権は相手チームに移り、有効範囲内の任意の位置にビュットを置くことができる。ただし、移行するのはビュット権のみで、試合の第一投目は先攻チームのままである。

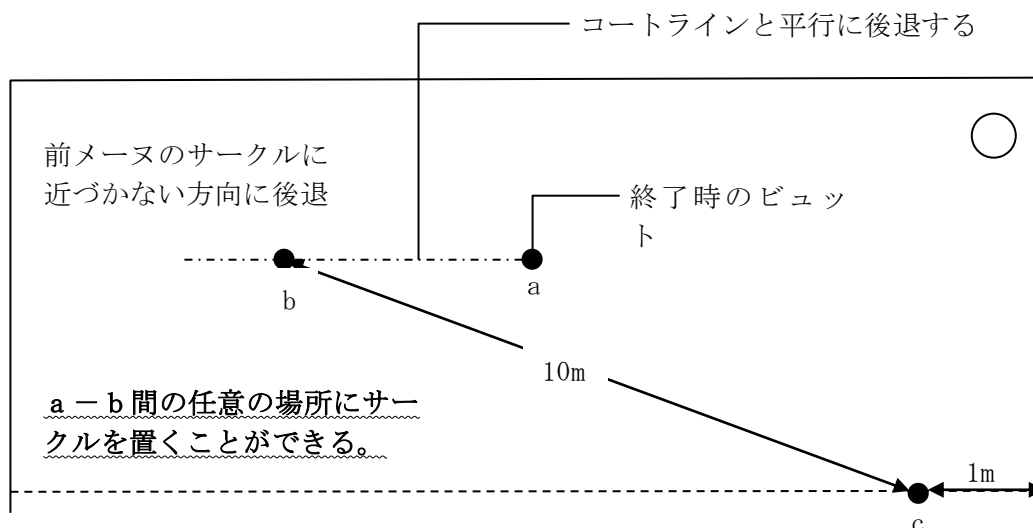
② 規定距離投げられない時の対応

- 次メースでは、前メース終了時にビュットがあった位置にサークルを置く。
しかし、すべての方向に対して規程距離（10 m）に投げられない場合は、次の方法でサークルの位置を決める。（ビュットを投げるチームに選択権があり、相手チームは強制することはできない。）

【ア】 前後に7 m以上の距離が取れるので、そのままサークルを置く。

この場合は、前後どちらの方向にビュットを投けてもよい。

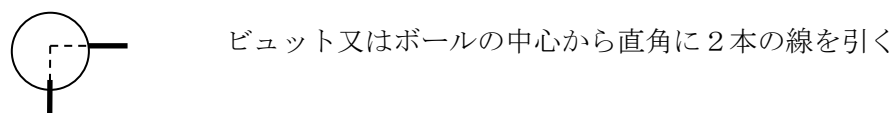
【イ】 コートラインと平行に遠い方の角から10 m投げられる地点を限度とし、前メースのサークルに近づかない方向に後退することができる。（次頁 図参照）



③ ビュットの有効

- ビュットがすべての動く物体によって止められた場合は、投げなおす。（回数に含まれない）
- ビュットが規定の距離か否か微妙な時は、計測を行う。
※ 微妙な距離であるにも関わらず、先攻チームが第1投を行った場合、後攻チームは距離の確認を行うことができ、その結果が規程の距離でなければ先攻チームはビュット・第1投をやり直す。
- ライン上のビュットについては、真上から見て、少しでもラインにかかっていたら有効、完全に越えた場合は無効となる。
- 有効なビュットには必ずマーキングを行う。
なお、マーキングを行うのは、投げたビュットであればそのチームの選手、メース途中で動いた場合は動かしたチームの選手が行う。

《マーキングの方法》



④ 無効なビュット

- メース中にビュットが移動し無効ラインを越える、又はサークルから3 m未満となった場合、次のいずれかが適応される。
【ア】 両チームにボールがある（又はボールがない）場合
・ そのメースは無効となる。
【イ】 一方のチームにのみボールが残っている場合
・ 手持ちボール数がそのチームの得点となる。
※ 次メースは、ビュットが無効になる前にあった地点にサークルを置く。

⑤ 移動したビュット

- 風や選手、他コートのボール等でビュットが動いた場合、マーキングの位置に戻す。

⑥ 止められたビュット

- ・ ビュットがボールに当てられた後、止められたり方向が変わった場合は次のとおり対応する。

【ア】 観客や審判員、他のコートでプレーしている選手やボールの場合

- ・ その位置のままとする。

【イ】 有効区域内の選手の場合

- ・ マーキングされたビュットであれば、相手チームが対応を選択する。
 - a その位置のままとする。
 - b 元の位置に戻す。
 - c 元の位置と停止位置の延長線上の任意の場所に置く
(サークルから20mまで)

なお、ビュットの場合は無効区域において無効にすることもできる。

※ マーキングがない場合は、その位置のままとする。

(3) ボールに関すること

① 有効区域にボールが無い

- ・ 有効区域にボールがひとつもない場合の対応は次のとおりとする。

【ア】 第1投目がボールの無効区域に入った場合

- ・ 相手チームが投げ、以降有効区域に入るまで交互に投げる。

【イ】 ティール・ポワンテの結果による場合

- ・ まず、最後に投球したチームが投げ、次に相手チームが投げる。以降、いずれかのチームがポイントを得るまで交互に投球する。

② 有効なボール

- ・ ライン上のボールについては、真上から見て、少しでもラインにかかっていたら有効、完全に越えた場合は無効となる。(無効ボールは直ちに除外)

③ 止められたボール～その1～

- ・ 投げたボールが、無意識に止められたり方向が変わった場合は次のとおり対応する。

【ア】 観客や審判員、他のコートでプレーしている選手の場合

- ・ その位置のままとする。

【イ】 同チームの選手の場合

- ・ 無効となり除外

【ウ】 相手チームの選手の場合

- ・ 投げた選手が、投げなおすかそのままかを決める。

④ 止められたボール～その2～

- ・ ティールした、またはティールされたボールが選手によって無意識に止められたり方向が変わった場合、相手チームは次のいずれかを選択する。

- a その位置のままとする。

- b 元のボール位置と停止位置の延長線上の有効区域に内に置く。
(マーキング有に限る。)

なお、ビュットの場合は無効区域も可能であるが、ボールについては有効区域のみ。

⑤ 投球時間

- ・ 投球は1分以内とする。

⑥ 移動したボール

- ・ 風や選手、他コートのボール等でボールが動いた場合、マーキングの位置に戻す。
なお、マーキングが行われていない場合は、両チームが合意できる場所に戻す。

⑦ サークル外から投げたボール

- ・ ビュットを投げたサークルの外から投げたボールは無効であり、マークされていれば、それが通過中に動かしたものはすべて元に戻す。

ただし、相手チームはアドバンテージルールを適用し、有効にすることができる。

(4) 得点と計測に関すること

① ビュットから同距離のボール

- ・ ビュットから同距離の場合、次のいずれかが適応される。

【ア】 両チームともボールが残っていない。

- ・ そのメースは無効となり、前メースでビュットを投げたチームがビュットを投げる。

【イ】 一方のチームにボールがある。

- ・ 残りのボールを投げ、判断する。

【ウ】 両方のチームにボールがある。

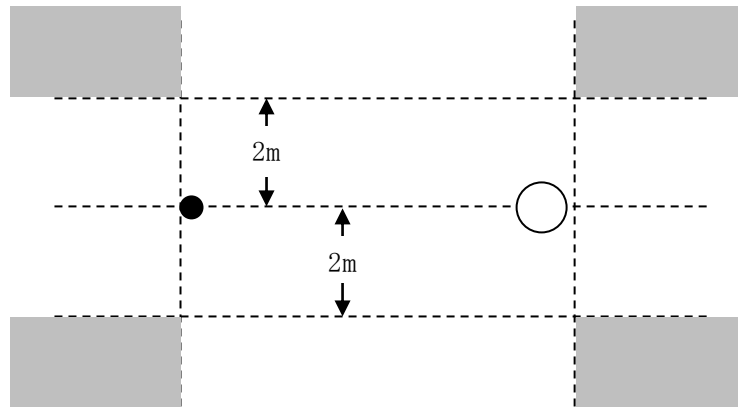
- ・ まず、最後に投球したチームが投げ、次に相手チームが投げる。以降、いずれかのチームがポイントを得るまで交互に投球する。

(5) 選手の待機場所位置

- ・ 選手は、ビュット又はサークルの後方で、かつ競技の方向に対して垂直に 2 m 離れた位置（下図の色つき部分）で待機する。

なお、投球チームの選手のみ待機場所を離れ、地面の状況や着地地点を投球者に指示することができる。

- ・ お互いがマナーを守り、投球に影響（話したり動いたり）のある行為を行わないようにすること。



※ 待機場所は、敵味方ともにビュット側で待機するのが理想。
(ボールの配置やビュットとの距離を把握できるので、双方に利益がある)

4 予選リーグにおける順位決定

- ・ 予選リーグでは次の順により順位を決定します。

① 勝ち数の多いチーム

② 負け数の少ないチーム

③ 対戦成績が同数の場合、次のとおり

3 チーム → 対象となっている 3 チームの対戦による得失点差（得失①）で判断する。

2 チーム → 当該チームの対戦で勝ったチーム

なお、引き分けの場合は、全体の得失点差（得失②）で判断する。

④ それでも決しない場合は、チーム代表者による 1 メース（2 投）により順位を決定します。

5 スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの出場について

- ・ 準々決勝で敗れたチームにより 5－8 位決定戦を行い、上位 4 チームに同学区 2 チーム入った場合、順次繰り上げる。